

埼玉住み心地の

第10回

良いまち大賞

入賞作品集



Good town jackpot

of the Saitama

living condition

 埼玉県住まいづくり協議会

良いまちづくり推進委員会



山田 温乃 「吉川に来てなまず食わずなかれ〜緑と水に囲まれた吉川〜」

埼玉県知事賞



◆審査委員長講評

まちを代表する、なまずを使用しながら、吉川市という場所を見せるという点が惹き付けられた。また、作品のレイアウトについても曲線を上手く使用しており、作品を上手く見せるという点についても配慮がなされていた。建物というハードの面だけでなく、なまずという生き物を軸に地域を調べるといことについて、まち歩きの楽しさや地域をみる視点が増えていいのではないかと。



米倉 令真 「コインパーキング」

埼玉県教育委員会教育長賞



◆審査委員長講評

住み心地の良いまちという題材に対して、コインパーキングを作品の中心におくという、今までにない切り口だった。どうしてこの場所にコインパーキングが設置されているのか、実際に自分の足でその場所に行き、長時間かけて調べてみようという発想が非常に面白い。作品中に数多くのコインパーキングが登場するが、各所での違いが出ているところが普段意識しないことであり、面白く感じた。



大類 澄音 「I LOVE パン in 南区」

埼玉県住まいづくり協議会会長賞



◆審査委員長講評

パン屋を題材として、さいたま市南区を表現してみようという切り口が印象的であった。実際に様々なパン屋を自分で訪ねてみることによって、本人も自分の住むまちについての新たな発見や楽しさということを感じることが出来たのではないかと、色彩的にも鮮やかなものがあり、見ている側も楽しさが印象に残りやすい。



岡田 萌 「農業のまち深谷」

審査委員長賞

農業のまち深谷

紹介
深谷は、埼玉県北部に位置し、利根川と荒川の二大河川に挟まれていた為、豊富な水と肥沃な大地に恵まれた、北関東屈指の農業王国である。

地形
北部…利根川水系の低地。浅間山の火山灰が利根川によって運ばれてきた沖積工。→幾度の利根川の氾濫で、川のすぐそばは砂地で、離れると粘土が多くなる。

南部…荒川流域系の台地。浅間山の火山灰が積もった沖積工。→砂地で排水が良い。

戦後、戦後の原野が開拓が進められた。地区全体としては、概ね平坦な地形で、市の面積の約半分を田畑が占めている。

気候
季節の寒暖の差が激しい。冬は、北西の季節風「関東のから風」が強く吹くもの、晴天日が多い。また、夏は高温で降雨に恵まれている。→「農業に適した地域である」。

年間平均気温 13.0℃
年間降水量 1,286mm
年平均日照時間 2,042時間
日本でも少ない寒い地域でもある。

農業の歴史
幕末から明治初期にかけて藍の産地。養蚕が盛んで、昭和初期には、耕地の60%が桑畑であった。
明治初期に藍の産地が没落。これをも、かたじけなく、深谷の藍の栽培が打ち切られた(明治の頃)。昭和4年の経済恐慌による藍の没落。耕地の大規模な作物転換を回り、深谷の生産が多様化。

農業産出額
約356億円
県内1位、全国15位
市内倍率 10.7% (全国平均)

品目	数量	単価	金額
小麦	1,000	1,000	1,000,000
大豆	500	500	250,000
...

作物面積
1位 小麦
2位 大豆
3位 稲
4位 雑穀
5位 ストローベリー

農業の現状
農業王国らしく、いろいろな場所で、深谷産の農産物が食べられる。野菜などは、季節によって多少種類の多様化があるもの、朝採りの物が店に並ぶ、新鮮でもおいしい。

課題と提案
野菜の産地である深谷だが、一方で宅地化も進んでおり、例に挙げ、農業従事者の高齢化が進んでいる現状がある。多くの後継者が育っていない。→誰でも農業を営むことのできる環境を整えることが必要である。また、子供の時から、農業体験させるべきかという点も。

平成26年2月の記録的な降雪により、歴史的な農業被害を受けた。農業損失額、推定約81億円である。農業産出額を誇る「農業王国」の被害も深刻な事態となっている。全市の7割が被害を受けた(約44%の被害)。→防災の再建に向け、資材・人手不足の解消が必要である。国で予算の見直しに向けた取り組みに、寄附金の活用も必要である。

◆審査委員長講評

限られたスペースの中での表現がとてもうまい。深谷市といえば深谷ネギが有名であるが、それ以外の農作物について丁寧に調べられており、その見せ方も色彩豊かに表現されていた。また、時事的なテーマについても言及されており、単にデータを載せるだけではない工夫がされているという点が評価できる。



優秀賞



伊東 由座
ぼくたちが住む町 富士見市



瀬戸口 春樹
遊んで笑える上尾丸山公園



古村 優希
心と体をきたえる越谷市



本田 未来
深谷市のみんなが
楽しめるイベント



高塩 寧梨
季節に合わせて楽しむ狭山市



松野 美咲
白岡イイト盛りだくさん



平松 功至
元気になれる!
蕨市公園MAP



千葉 あい
武蔵一宮 氷川神社周辺 大宮



山内 茜里
昔懐かし 蔵造りの町並み



大滝 大瑚
なまずが有名! 吉川市



優秀賞



出口 陽翔
Boatの町 Toda



加藤 真那
南区魅力発見かるた
地域の憩いの場



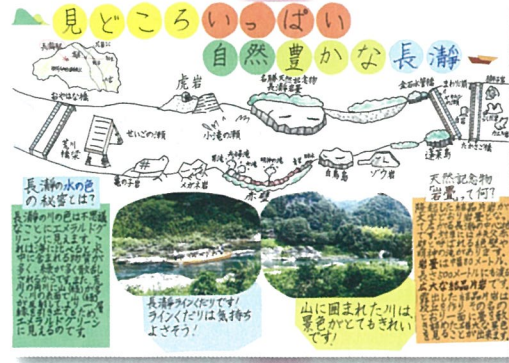
田中 里奈
花いっぱい
さいたま市南区



菅原 玄太
笹目川にくらす生き物と5つの橋



今井 美汐
川越が利益 願いとめぐり



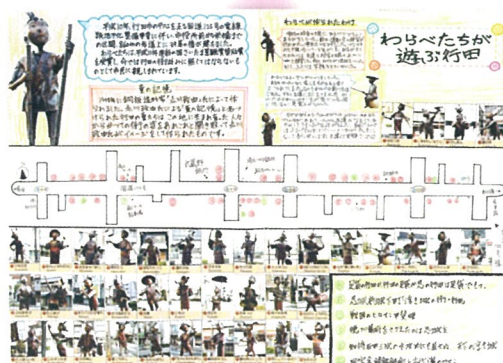
宮田 真奈美
見どころいっぱい
自然豊かな長瀨



深澤 美玲
おこる楽しい!
長瀨



前田 大輝
良いまち
さいたま市西区



岡田 玲良
わらべたちが遊ぶ
行田



橋本 萌音
加須のまち



優秀賞



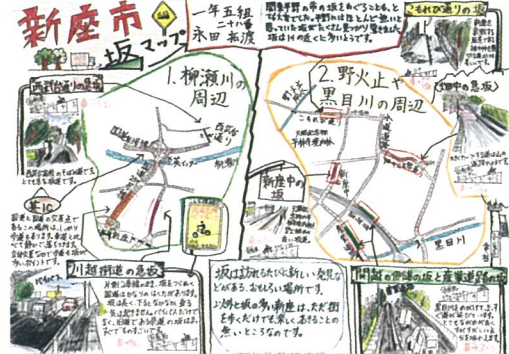
波多野 凛
浦和うなぎめぐり



西井 諒真
埼玉の温泉



岩城 早映
岡部の歴史



永田 拓渡
新座市 坂マップ



馬場 真由美
豊かな自然と清流の恵み
坂戸西部地区巡礼



高橋 梨奈
春日部をもっと知り隊



綾部 早紀
小江戸の街
川を越えればすぐそこに



米塚 莉音
名所と伝統あふれる町
こんな小江戸巡りはいかが？



廣澤 光紀
浦和銅像めぐり



末房 康太郎
何でもそうぞう！
便利な三橋6丁目



協賛企業賞



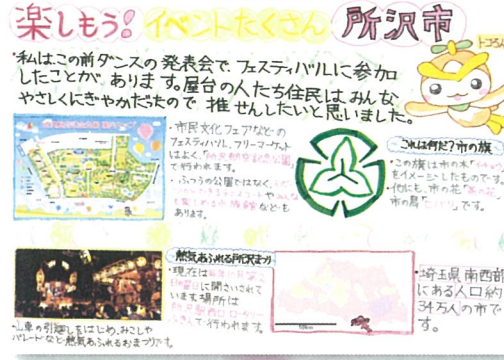
新井 颯馬
ぼくたちのまちのたのしいこうえん



増田 葉
みどりがいっぱい! そめや



後藤 碧
いつもキレイなひ川の森



笠井 歩美
楽しもう! イベントたくさん 所沢市



山下 礼雄
がんばれ 笹目川



割田 聖也
自然と歴史の町 宮原



前田 瑠夏
8つもある! 越谷の駅



井上 瑠七
一度は行ってみたい! いこいの場 花田苑 2014



榎本 圭那
自然いっぱい 越谷!



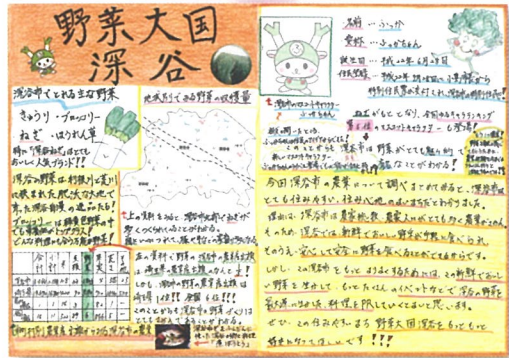
谷口 未紗
年に一度の一大イベント! 深谷まつりはこんなお祭り!!!



協賛企業賞



野菜がたくさんの食べ物のおいしい深谷
佐野 実樹



野菜大国 深谷
小林 純



熊谷スポーツ文化公園
手島 麻友



秩父 伝統の町
田淵 陽菜



六辻水辺公園
栗辻 礼菜



ほごり恵れとバリアフリー
けやき広場
根岸 航希



春日部の名物と特産品
曾田 未来



春日部の特産物
藤縄 朝日香



川口
宮嶋 歩



秩父 秩父祭
生井 愛音莉



協賛企業賞



小寺 海明
大宮駅 周辺ぶらり旅



宮木 英奈
大宮駅周辺MAP



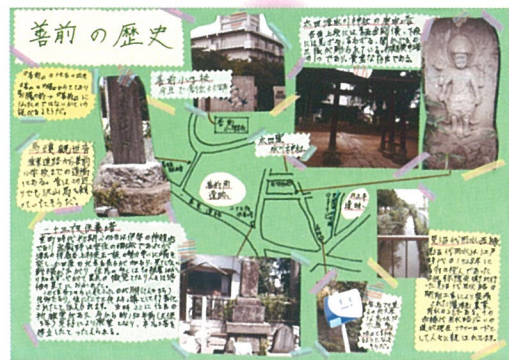
中野 来美
北浦和



今井 汐里
三芳野神社



松本 和真
ワッショイ!三郷



中嶋 悠貴
善前の歴史



竹之内 琉
我慢できる
我がSAITAMA CITY



野口 栞
浦和の絶品名物



野澤 祐希
発見!野火止は野菜の宝庫?
直売所MAP!



中村 悠里
1度は行ってみたい
越谷の見どころ巡り



第10回記念特別賞



大すき 榎本牧場
瀬戸口 智樹



小舟 英恵
魅力いっぱい深谷の建て物



大宮 良介
高蒲川を遊ぶ



田中 皓太
黒目川橋梁めぐり



浅見 勇樹
良いまち白岡



堤 麻衣
身近な所に神社いっぱい



山下 愛乃
毎日が観光日和 長瀬



田中 木乃美
小江戸川越
歴史と自然あふれるまち



小古井 陽人
通リゃんせ 江戸の町



片桐 駿
浦和駅西口周辺 彫刻

審査委員長 講評

今年は、富岡製糸場が世界遺産に登録されたという大変喜ばしいニュースがありました。その影響もあり、過去最高の来場者数を更新していると聞きます。富岡製糸場の設立には、埼玉を代表する偉人である、渋沢栄一の尽力があったことが有名ですが、あの赤レンガの製造を担った葺塚直次郎という技術者も埼玉出身の人物であることはご存知でしょうか。このような史実は、世界遺産としてスポットが当たったことによって、より一層多くの人に知られることとなったのではないのでしょうか。

今年度の応募作品も、今までになかった新しい切り口から自分の住むまちを表現した作品や、普段何気なく見ているまちを深く掘り下げた作品が増えました。このような、自分たちが普段慣れ親しんでいるまちを少し違う角度から見る経験は、とても有意義なものになると思います。

「第10回埼玉住み心地の良いまち大賞」は、前年度を700点以上も上回り、過去最多となる2,118点のご応募をいただきました。その中で、埼玉県知事賞に選ばれたのは、山田温乃さん(中学1年生)の「吉川に来てなまず食わずなかれ〜緑と水に囲まれた吉川〜」です。また、埼玉県教育委員会教育長賞に、米倉令真さん(中学1年生)の「コインパーキング」、埼玉県住まいづくり協議会会長賞に、大類澄音さん(中学1年生)の「I LOVE パン in 南区」、そして、審査委員長賞には、岡田萌さん(中学3年生)の「農業のまち 深谷」が選ばれました。

埼玉県知事賞に選ばれた山田さんの作品は、なまずを題材として吉川市のまちを紹介しています。建物だけでなく、吉川市を代表する生き物を軸に、自分の住み慣れたまちを調べ見つけ直してみると、新しいまち歩きの楽しさや地域をみる事が出来ると思いました。また、作品のレイアウトについても曲線を巧みに使用しており、作品を上手く見せる素晴らしい工夫がされていました。

山田さんの作品のみならず、入選したすべての作品には、まちの魅力を見つけるためのヒントが描かれています。皆さんも作者の発見したまちの魅力を、その目で確かめてみてください。もしかすると、作者も気付かなかった新たなまちの魅力を発見できるかもしれません。

節目となる埼玉住み心地の良いまち大賞は、平成17年の第1回目から今年の第10回目までに、7,763点のご応募をいただきました。これは、埼玉が魅力溢れるところであることを示すものです。そして、なにより、作者が発見した「良いまち」を私たちに届けてくださる小学校、中学校の先生や親御様、協賛企業の皆様のご支援・ご協力があってこそその結果です。関係者の皆様には、深く感謝を申し上げますとともに、これからも埼玉県住まいづくり協議会の活動へのご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

平成26年10月

埼玉新聞社 代表取締役
小川 秀樹

表彰式(平成26年10月11日)



後援 埼玉県 埼玉県教育委員会

協賛

職人品質をもっと身近に。 **アクキュラホーム** **アベルコ** **デアイスター不動産** **近藤建設株式会社** 一般財団法人 **さいたま住宅検査センター**

埼玉新聞社 **Jgroup 住協** **OKUTA** あなたの暮らしを応援 **埼玉県住宅供給公社** **SEKISUI HOUSE** **高砂建設** 人と地球にやさしい家づくり。

住まいの価値創造企業 **POLUS 株式会社中央住宅** **HOSHINO** **MISAWA ミサワホーム西関東 株式会社** **門間工務店** **LIXIL**

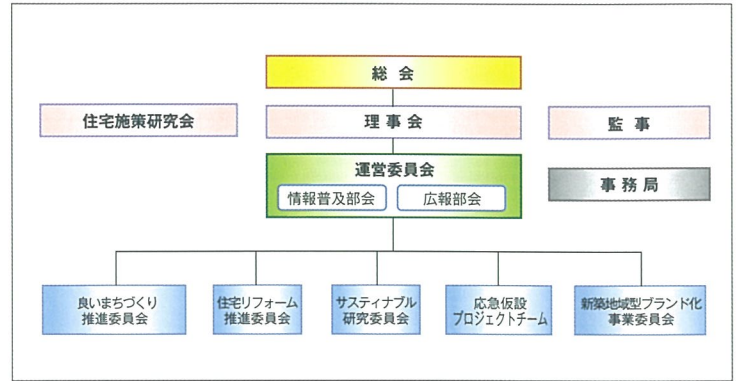
街の元気な不動産屋さん **HOUSE STATION** **Epo エポシステム** カギと防犯の **芝西防犯センター** **かぎ丸** **株式会社 銀河** 一般社団法人 **埼玉県建築士事務所協会** 財団法人 **埼玉県建築住宅安全協会**

住宅金融支援機構 **日本ロックセキュリティ協同組合** **PanHome** あなたと夢を、ごいっしょに。 **ボラスのリフォーム** **わが家のセーフティネット** **神田屋** **総合広告会社 liviko** **YKK AP** **TOHAN** 色こそ、色いろいろ **トラン** 住まいに「健康」を提案する **livio**

◆埼玉県住まいづくり協議会とは ～埼玉県の住宅産業の発展のために活動しています～

近年、住宅を取り巻く環境は時代の変化と共にその要請されるところが目まぐるしく変わってきています。我々住宅業界が自らの事業を果たして行くためには、その時代の変化を着実に捉え、その身を変えて行く必要があります。

大震災への備えとして、当然、地震に強い住宅を開発しなければなりません。高齢社会が叫ばれるなら、住宅、住環境もこれを意図しなければなりませんし、また新しいビジネスのチャンスも多岐に渡ってきています。地球環境問題では既に省エネルギー、CO2削減への動きは周知ですが加えて創エネ、畜エネもまた開発ポイントになってきています。少子化もまた確実な社会現象となっています。



これらに整合して住宅はどのような変化をみせるのでしょうか。また我々の地元埼玉には埼玉特有の問題もあります。こうした変化する社会に住宅はどのように変化するのでしょうか。自らもまた変化せざるを得なくなってきています。

埼玉県住まいづくり協議会は、行政・公益団体・民間企業が共にネットワークを持ち、互いに知見を持ち寄って、各々の発展、地域の発展、埼玉県民の安心・安全・快適な住宅、住環境の創造に寄与していこうとする活動です。我々会員のレベルを切磋琢磨して向上させることが最も重要な活動であり、ひいては埼玉県民の住環境に資するものと考えています。

◆埼玉住み心地の良いまち大賞とは

私たちが日常生活を営むうえで、その中心を成すのは「住まい」です。「住み心地の良いまち」とは、居住を目的とする住宅だけを指すものではなく、その周辺における環境や暮らし方も含めた多様なものです。県内にある「住み心地が良いと感じるまち」を発見し、その素晴らしさを発信していくことは、県内のまちをより良くすることにつながります。

そこで、埼玉県住まいづくり協議会では、県内の「住み心地の良いまち」について、写真や絵などで作成されたものを募集し、応募作品の中から優秀なものを表彰する「埼玉住み心地の良いまち大賞」を実施しております。

この賞を通じて、多くの県民の方々が自分たちの身近にある、まちの良さを再発見するとともに、埼玉のまちの素晴らしさを発信してまいります。

埼玉住み心地の 第11回 良いまち大賞

作品募集

歴史のあるまち、自然が残るまち、安全なまち
あなたの目線で、「あなたの良いまち」を紹介してください。

応募締切 平成 27 年 9 月上旬

連絡先：埼玉県住まいづくり協議会事務局 TEL 048-830-0033

良いまち大賞

検索 